

《取材依頼》

マルモビ

マルチパーパスモビリティ車両『MARU MOBI』
企業版ふるさと納税 珠洲市寄贈式 開催のお知らせ

岐阜県可児市に本社を置くキャンピングカーメーカー「株式会社トイファクトリー」は、2024年1月の能登半島地震で被害を受けた石川県珠洲市に向けて、マルチパーパスモビリティ車両『MARU MOBI（マルモビ）』を企業版ふるさと納税を通じて寄贈いたします。

つきましては、下記のとおり車両寄贈式を開催しますので、各報道媒体様でご紹介いただきますようお願いいたします。紙面などの都合もあると思いますが、よろしく願います。

記

●開催日時 2024年7月31日（水） 13:00～13:30

●開催場所 飯田わくわく広場前（〒927-1214 石川県珠洲市飯田町16-21-1）※珠洲市役所横
※寄贈車両前にて式を執り行います（雨天の場合は屋内に変更あり）

●タイムスケジュール ※タイムスケジュールは前後する場合がございます。

- ・13:00～13:05 冒頭あいさつ および 目録贈呈
- ・13:05～13:15 寄付企業（株式会社トイファクトリー代表：藤井昭文）からの挨拶
- ・13:15～13:25 珠洲市 泉谷市長からのご挨拶
- ・13:25～13:30 記念撮影
- ・13:30頃 寄贈式終了 ※終了後、珠洲市職員に向けて車両操作の説明の時間を設けます。
上記の様子撮影や、個別のインタビューなども可能です。

●背景

MARU MOBIとは？

キャンピングカーメーカー株式会社トイファクトリーが自治体や団体向けに開発した車両で、車内家具に脱着可能なシートや家具を採用し、車内レイアウトを組み替えて多目的に使える、「備えない防災」を一台で叶える車両です。

トイファクトリーは1月の地震発生後、長引く被災地の水不足やトイレ不足問題を受け、同社が日本総代理店を務めるスイスのウォーターレストイレ「clesana（クレサナ）」を車内に2つ備えたトイレカーを緊急開発し、避難所に派遣しました。



トイレカーを設置した避難所では、「水を使わないからバキュームカーによる汲み取り待ちが不要で、いつでも使えて嬉しい」「密閉バック式だから、臭いも漏れず安心。排泄物に触らずに密閉されるので衛生的」「お年寄りやお子様でも操作が簡単」など、避難所の方々から喜んで頂きました。

今回の珠洲市への寄贈車両は、その避難所に派遣していたトイレカーを、現地状況が改善したことを受け、一度引き上げてリペアしたマルモビ車両です。

被災直後に派遣したトイレカー仕様とは異なり、正式なマルモビ車両仕様に仕上げたことで、通常は10人乗りコムーターとして公用使用しながら、有事の際は脱着式のトイレ個室を設置してトイレカーとして、また、救護室や移動オフィスなど幅広く使える車両となっています。

●お問い合わせ先

- ・株式会社トイファクトリー 広報 丹羽（にわ） TEL：090-9127-0667/0574-63-0667 a.niwa@toy-factory.jp
- 寄贈式の取材を希望される場合、事前に上記担当者にご連絡頂けますと幸いです。
- また、不参加となる場合も画像データや撮影動画の提供も可能ですので、ぜひお気軽にお問い合わせください。